

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を掲げ常にご利用者様の為の介護を目指し、ご利用者様が生きる喜びを感じられるよう職員一同努力研鑽しています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	業務に就く際、帰る際に、理念を読み上げ全職員が理念を理解し共有できるよう日々努めています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	事務所、掲示板に運営理念を表示しております。また、機会がある度に当グループホームを理解してもらえよう、理念方針を説明しております。	○ 2ヶ月に一度実施されている運営推進会議に近隣の方や家族の方にも参加して頂いているので、その都度グループホームの理念や運営方針などを理解して貰えるように分かり易く説明するようにしています。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	季節の花や野菜などを庭に植えたり、テーブルなども設置し何方でも寛げられるように配慮しています。また、全職員が近隣の方と気兼ねなくお付き合いが出来るように、日常の挨拶から他愛も無い会話まで積極的にコミュニケーションを取るように努めています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の中で共に暮らし、共に生きるをモットーに地域の人々と交流できるように努力しています。体験学習・インターシップの受け入れ、ボランティア・地区社協の受け入れを通じて、広く地域に開放しています。	○ ホーム便りを地域の窓口などに配布し、ホーム自体を理解して貰えるように努めています。また、地区の老人会や、小中学校などから要望があれば直に受け入れられるようにしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の方や見学に来られた方からの相談や質問などは相談者のお役に立てるよう心掛けながらアドバイスを随時、行っております。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評議時のアドバイスや家族からの要望、意見などがあつた場合は迅速に対応、改善するように努めています。また、職員間でも随時話し合いを行い外部評価及び自己評価の意義を理解し、改善していくよう努めています。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の際の意見や要望は記録に残し改善やホームの向上に活かすようにしています。また、市の職員からの意見や民生委員の方からの意見も大変参考にしており、徐々にホーム自体が向上していているように感じられています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの介護支援専門員が市町村の担当者と随時、連絡や行き来をし情報やアドバイスを頂きながらサービス向上に努めています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	全職員が研修、講義などを受けながら知識向上に勉め、それを活かせるようにしています。また、個々の必要性を見極めながら話し合いの場を設け支援しています。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	全職員が研修、講義を受け虐待に付いての知識を学んでいます。また、ホーム内でも虐待が起こらないよう全職員が一丸となり注意を払いながら、虐待防止に常時努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には利用者、家族の方に分かり易く説明し理解・納得を得ています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	一ヶ月に一度、社協の方に訪問して貰い利用者様の声を聞いて頂いています。利用者が話をしている際には職員は席を外し気兼ね無く社協の方と話が出来るよう配慮しています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ホーム便りにより、常に利用者様の状況を報告するようにしています。また、状態の変化が見られた場合は電話で連絡したり、家族の面会時に状況を説明するなどして随時、家族の方に報告するようにしています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に意見箱などを設け利用者、家族の方が何時でも意見や苦情を訴える事が出来るようになっていきます。また、ホームに苦情受付の担当者も設けており、苦情・意見の対応の他、運営に反映させるよう努めています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度ホーム内で全体会議を開き全職員の意見・提案を聞き、記録に残しホームの運営に反映させるようにしています。その他にユニット毎に会議を開いており、随時、職員の意見・提案を聞く事が出来るようになっていきます。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	その時々々の状況に応じて話し合いを行い勤務の調整を行っています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が出来る限り不安無く過ごせるよう施設では異動を必要最小限に抑えている他、離職者を出来るだけ出さないよう努力しています。万一、離職・異動があった場合は速やかに人員を補充し利用者にダメージが及ばないように努めています。	○	母体である医療機関が中心となっておりホームだけの判断では異動はどうしても避けられない状態にあります。利用者の状態や家族の要望をその都度、医療機関に伝え対処していきたいと思ます。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画の作成をした後、研修に参加しています。また、研修終了後は報告書を作成し、研修内容を全職員に伝達するようにしています。その他に研修した事を現場で活かせるよう全職員が話し合い現場で実践して行くよう努めています。	○	同施設内の研修の他、職員一人一人の段階に応じた研修を実施するよう努めています。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同系列の施設交流の他、他施設の交流も行っており、同業者同士の情報交換も随時行いながら互いにサービスの質を向上させていけるよう努めています。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレス解消に留意し、ストレス診断も取り入れています。また、年に一度親睦会を実施しています。その他、ホーム内に休憩所や設備も確保しており職員がストレスを出来る限り軽減できるよう配慮しています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に一度、面談を行い職員個々の要望・意見を聞き各職員が向上心を持って働けるよう配慮しています。また、運営者は実績・勤務状況を把握した上で、個々に応じたアドバイスなどを随時行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居の事前に家族、本人にホームへの要望及び希望を聞きホームでの生活を支援する上で参考にしています。また、入所した時点で本人の話を聞き内容に応じて家族の方の協力を得ながら対応するようにしています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の時点で家族の要望、希望及び困っている事などを聞きその都度対応しています。また、入所後もご家族の相談を随時受け付けており改善に向け適切な対応をするよう努めています。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人は元より家族からの要望があれば、随時対応するようにしています。また、利用者の状態や家族の希望を聞き、それを基に介護方法を決めるようにしています。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始から暫くの間は様子観察をすると共に、ホームの雰囲気慣れて頂く事と、周りの方と早く馴染めるように努めています。また、環境の変化を出来る限り変えないよう家族の方と話し合い、在宅時の生活環境に近づけるよう工夫もしています。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	全職員が利用者と共に食事をしたり、お茶を飲んだりしながら家族のような関係を築いていけるよう努めています。また、利用者と職員の間壁を作らないよう配慮するようにしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族が面会にきた時は、お茶を出し家庭的な雰囲気の中で話をするように心掛けています。職員も介護をする上で困った事があれば家族の方に遠慮なく話し、家族の方と一緒に利用者支援していくようにしています。	○	家族会の際には、個別に面談し利用者について話をしたり、家族の要望などを再確認したりしています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の要望があれば直に家族に連絡し、面会して頂くようにしています。また、事前に家族に状態を説明しておき本人の状態を理解した上で逢って貰うようにしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の友達や知人が何時でも逢う事が出来るようになっています。時々、ドライブなどに連れ出し以前に住んでいた場所を散歩したりして頂いています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お互いが楽しく生活できるように、利用者の性格、相性を考慮しつつ、利用者同士が楽しく生活できるように援助しています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用が終了しても手紙や電話などで利用者の近況を確認するよう心掛けています。また、家族から何らかの相談があった場合は、出来る限りのアドバイス等をするよう心掛けています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者と触れ合う時は、一人一人の人格を尊重し対応するよう努めています。本人がホームでの生活の中で何を思い、何を望んでいるのか全職員が観察、記録し本人の意向に沿って生活環境を作り上げるよう絶えず努力しています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活暦を念頭に入れ支援を行っています。利用前には家族、本人から在宅時の生活状況を伺いサービスに活かすようにしています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常生活で本人が出来る事は、職員は出来る限り口出しせず本人に委ねるようにしています。また、日々の生活の中で絶えず心身の状態を観察し、状態に応じて対応するようにしています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画書を家族や本人に見て頂き、一緒に情報を共有できるように常に配慮しています。また、その都度、家族、本人から意見や要望があればそれに沿った計画書を作成するようにしています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間終了時及び利用者の心身に変化が見られた際にモニタリングし、状態の変化に留意した計画を立てています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録簿をつけ、常に利用者の状態の変化（身体・精神）に留意しながら介護に活かすように努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院が母体なので、家族及び本人から要望などがあれば医療機関に協力を依頼したりしながら支援を行うようにしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防・文化教育施設への働きかけを行い協力を得ています。ただ、商店街及び警察署への働きかけが、まだ不十分な所がある為、今後は協力を依頼していき支援していくよう努めたいと思っています。	○	積極的に商店街、警察署などに働きかけを行っていく予定です。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	同じ系列の施設や他施設と連絡を取り合いながら、本人の意向や必要性に応じて対応するように努めています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在の所、地域包括センターとの協働は少し不十分かと思われます。今後は積極的に地域包括センターと協働していくよう努めていきたいと思っています。	○	地域包括センターについて、今後、全職員が内容を理解し活用できるように努めていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	殆どの利用者が当法人の医療機関を利用していた方なので、本人及び家族の方も納得されています。また、当法人の医療機関以外でも、利用者及び家族の方の希望があれば直に対応するように努めています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症療養病棟を持っている病院が母体のホームなので、常に利用者にとって最善の方法を医療機関と相談しながら対応出来るようになっていきます。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当ホームには担当の看護職員がおり随時、利用者の心身の状態を報告し健康管理に努めています。また、ホーム内でもバイタルチェックや表情観察し医療機関に直接、報告するなど柔軟な対応をするよう心掛けています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	認知症療養病棟を持っている病院が場対のホームなので、常に利用者にとって最善の方法を医療機関と相談しながら対応しています。また、利用者が入院中はホームの職員が毎日顔を出すなどして、少しでも安心して頂けるよう常に配慮するようにしています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	当ホームでは利用前に家族及び本人に方針の説明を行っています。また、状態に応じて担当医及びホームの職員も交えて家族の方に納得して頂けるよう説明を行うようにしています。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	母体である医療機関と情報交換しながら変化に備え対応するようにしています。また、家族の方の協力を得ながら、利用者が日々をより良く暮らせるよう努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者が少しでも安心して生活できるよう、十分な話し合いを行うよう努めています。また、状況に応じて馴染みの職員が顔を出するなどして、精神の緩和を図ったりと柔軟な対応を心掛けています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全職員が、個々の人格を尊重した対応をするよう日頃から心掛けています。また、記録などを取る場合は出来る限り個人を特定したり、傷つけるような表現をしないよう留意しています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常日頃から利用者とのコミュニケーションを密にし、利用者が何を望んでいるかを把握し、その実現に向け努力しています。利用者の意思を尊重し、時には「どうかな？」と思う事でも出来るだけ添えるように配慮しています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日一対一で話をし、本人が今何をしたいのか、今日一日どう過ごしたいかなど聞き、職員は本人が1日を自分にペースで希望通りに過ごせるよう支援するよう努めています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その日の気分に合わせて、おしゃれを楽しんで頂けるよう配慮しています。職員はアドバイス程度に留めるようにし、最終的には本人に委ねるように心掛けています。	○	現在、ホームでは移動美容院と提携しており2ヶ月に一度、本人の希望があればプロの美容師により散髪を行えるようになっていました。また、掛かり付けの店があれば家族、職員が同行し理容・美容が行えるようになっていました。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	家庭的な雰囲気の中で、職員と利用者が一緒に食事を作ったり、同じテーブルで会話を挟みながら楽しく食事が出来るよう配慮したりしています。片付けなども無理強いしないよう注意しながら、声掛けを行っています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物に出掛け本人に好きなものを選んで頂いたりしています。また、利用開始前に家族・本人から情報を得ておき、ホームでも個々に合わせた物を出すようにして楽しんで頂けるように努めています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握する為、プライバシーに留意しながら観察、記録を行い支援に活かすよう努めています。また、排泄パターンや排泄の失敗の原因を把握、研究し支援方法を決めるようにしており、紙パンツ及びオムツの使用を出来る限り減らせるよう努力しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせて直に入浴して頂けるよう準備をしています。また、入浴の際にも出来る限り寛いで頂けるよう利用者の意思に任せるようにしています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	何時でもお茶などが飲めるよう食堂に利用者が直に分かる場所にポット、急須を準備しています。また、その日の気分で居間、居室、食堂等で休憩が取れるよう臨機応変に対応しています。睡眠に関しては内服に頼らず生活のリズムで修復するよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の個性・現在の能力を考え、その人の出来る事を支援しています。食器を洗う、洗濯物を畳む、新聞を読む、広告を見るなど。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	出来る限り職員が関与しないようにし、利用者の希望通りに買い物などして頂くようにしています。場合により職員が本人に代わり金銭管理を行いながら、本人の要望に沿うよう支援しています。	○	当法人の売店に協力を依頼し何時でも好きな時に買い物出来るよう改善したり、外に出向く時はお金を持っていき、好きな時に何時でも買い物出来るよう配慮しています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くに公園等があり利用者が希望すれば直に出掛けられるようになっていきます。また、ホームに花壇があり、四季折々の野菜や花を植えたりとガーデニングも楽しめるようになっていきます。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	散歩やドライブのほか地域で実施している祭り、イベントなど積極的に参加するようにしています。また、年間行事の一環としても花見や地区外にドライブを家族同伴で出掛けたりと、出来る限り家族と一緒に出掛ける機会を多く設けるように努めています。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームには公衆電話が設置してあり何時でも電話を掛ける事が出来ます。手紙も本人に代わり出したりと臨機応変に対応するよう心掛けています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	知人・家族が面会に来られた場合は、利用者と寛いで頂けるようお茶を出したり、場合により一緒に食事を取って頂いたりして貰いながら、家庭的な雰囲気の中で過ごして頂けるよう努めています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の無いケアをすると言う共通の認識を全職員が持てるようにしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入り口に関しては日中鍵は掛けていません。夜間・裏口など必要と思われる場所に関しては、家族・利用者の同意を得て鍵を掛けています。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常時、職員は利用者の所在や様子をプライバシーに留意しながら把握するよう努めています。夜間は定時の巡視の他、利用者の心身の状態に応じて、その都度、臨機応変に対応するようにしています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の不安を仰ぐ事無く、状態に応じて家族・本人の承諾を得てから対応するようにしています。緊急時の場合は速やかに対応し、後に家族に報告するなどしています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルがあり、会議・ミーティング時に読み合わせをし再確認を行っています。また、緊急時に備えシュミレーションを行ったり、各職員が個々に学んだり日々、努力しています。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全職員は当法人の研修及び講義を受けるなどして、万一に備え直に対応できるよう訓練を行っています。また、事故発生時のマニュアルもあり各職員が個々に学べるよう配慮しています。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2度、消防署の協力を得て避難訓練を実施しています。当法人の施設も近隣にあり災害時には協力し合えるよう訓練・話し合いを随時行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	リスクが伴う利用者に対しては事前に家族に説明しホームにおける対応方法などを話し同意を得るようにしています。また、全利用者の家族の方にも今後、起こり得るリスクについて話し合い対応策を講じています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に身体の観察を行い状態を把握するよう努めています。また、毎日バイタルチェックを実施しており、個別の日誌、申し送りノートなどに記録し、迅速な対応を心掛けています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人で服薬管理が難しい場合、職員が管理し症状を確認しています。また、職員は個々の処方箋を確認したり、医師に尋ねるなどして利用者の状態の把握に努めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便誘導に留意し、食べたならトイレに座るをモットーに自然排便を心掛けるようにしています。食事・運動と併せた取り組みに留意しています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の見守りや介助を通じ、歯磨き・嗽・入れ歯の手入れを徹底しています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の記録用紙に食事量、水分量など毎日記録し、場合により管理栄養士の指導を受けるようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルを適応し予防しています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は委託している業者から毎日、届けて貰ったり利用者と一緒に買い物に行ったりしながら新鮮な食材を調達するようにしています。衛生面ではチェックシートを作成し毎日管理、チェックを行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に四季の花を植えたり、中には四季折々の花を飾ったりと、家庭的な安心感を得られるよう配慮しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられるように装飾に工夫を凝らしたり、四季折々の花を飾ったりしながら、家庭的な雰囲気を感じられるよう配慮しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	プライバシーに配慮しつつ自由に過ごせる居場所の確保に努力しています。廊下のスペースには椅子、机を配置し利用者同士のコミュニケーションが円滑に行えるよう配慮しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	個人の趣味や今までの生活を重視し、安心して過 ごして頂けるよう配慮しています。また、家族・ 本人の要望があれば在宅時に愛用していた物を持 ち込んでもらい、自宅に居るような安心感を持っ て生活が出来るように支援しています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	天候に応じて窓を開けたり、換気扇を回したりと 常に換気には気を付けています。また、室内の温 度も利用者の状態に合わせてこまめに調整するよ うに努めています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下、エレベーター、浴室などに手摺りが設備さ れており日常活用されています。また、トイレも 利用者の状態に合わせて選べるようになっていま す。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	利用者が混乱しないようトイレ、浴室など分かり 易く表示するよう工夫しています。また、利用者 の一つ一つの動作にも頻回な声掛けを行わないよ うにし、本人のペースでゆっくりと動作してもら うなど絶えず心掛けながら支援しています。		
87	○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	中庭を確保してあり、テーブル・椅子を配置し自 由に外での生活が楽しめるようになっていま す。また、中庭には花壇もあり季節の花や野菜など を利用者と植えたりしています。		



(部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・母体である医療機関が近隣にある為、利用者及び家族の要望や利用者の体調に異変があった場合など、迅速に対応する事が出来ます。
- ・近隣に当法人の施設もあり、イベントなどがある場合、各施設毎に協力し合い何時でも参加できる事ができます。
- ・当ホームでは各月毎にイベント、行事を計画し利用者に楽しんで頂けるよう常に努めています。また、家族の方にも参加して頂けるよう、その都度ご連絡しています。
- ・ホームに閉じ籠らない生活を心掛けており、ドライブ、散歩など積極的に出掛けるよう努めています。
- ・他施設との交流を多く持ち、互いに情報交換をしながらサービスに活かすよう努めています。